

## 緩和医療における チームワーク

た。そこで、FM西東京 当可能な治療(モルヒネ の自分の番組でも取り上 マだと改めて思いまし て、今話題性のあるテー げました。 そのなかで用意した資 の持続皮下注射、鎮静薬の 中心静脈栄養ポート管理、 た。緩和医療における担 以下のものがありまし 持続皮下注射、 皮下輸液、 査技師、 は医師、 果をもたらしているもの き、チームとしてワーク トがさまざまな立場で動 しており、それがこの結 診療アシスタン 看護師、 臨床検 を撮りました。特に動

在宅看取り率に 験および担当可能な治療 料に、診療所医師におけ る在宅緩和ケアの診療経 麻薬の投与など)につい て自信を持って行える医

うなテーマが書かれてい が、たまたま自分の愛読 ついて取り上げました の文藝春秋にも同じよ 査がありました。 について235の医療機 関に問い合わせをした調 特に注目すべき項目に スタントのヒロコさんも 側索硬化症(ALS)で 低い水準だというもので 療機関は10-2%という す。この現実には、アシ が落ちる難病の筋萎縮性

総合内科専門医・循環器内科医・日本循環器学会専門医・日本循環器学会認定医・日本内科学会認定医・認知症専門医・認知症サポート医 驚いていました。 測されました。当院で 高さはこれらの医療行 が行えているからだと 進行に伴うご本人やご家 そこで改めて考える 当院の在宅看取り率 宅医療がどう関わってい ているのか、また病気の ます。その患者さんに在 族の気持ちについて動画 は在宅医療は必須となり

松原 清二医師 在宅療養支援診療所「まつば らホームクリニック」院長

[まつばらホームクリニック] **2042-439-1250** 

■記が、干削3.00 千度0.00
■定休日 : 土日 (祝日は診療)
■訪問地域: 西東京・東久留米・■・新座・練馬の一部
「まつばらホームクリニック」検索

れば良いなと思います。

輸血、胸水腹水穿刺、経口 だと再認識しました。 と思われます。そのチー ム力こそが当院の持ち味 在宅療養で全身の筋力 Sの方の日頃を端的に述 ち、気持ちを分かり、共 もこの病気に関心を持 方やそのご家族だけでな べています。神経難病 の最後のコメントはAL のまちづくりの一助にな く、地域の方々が少しで